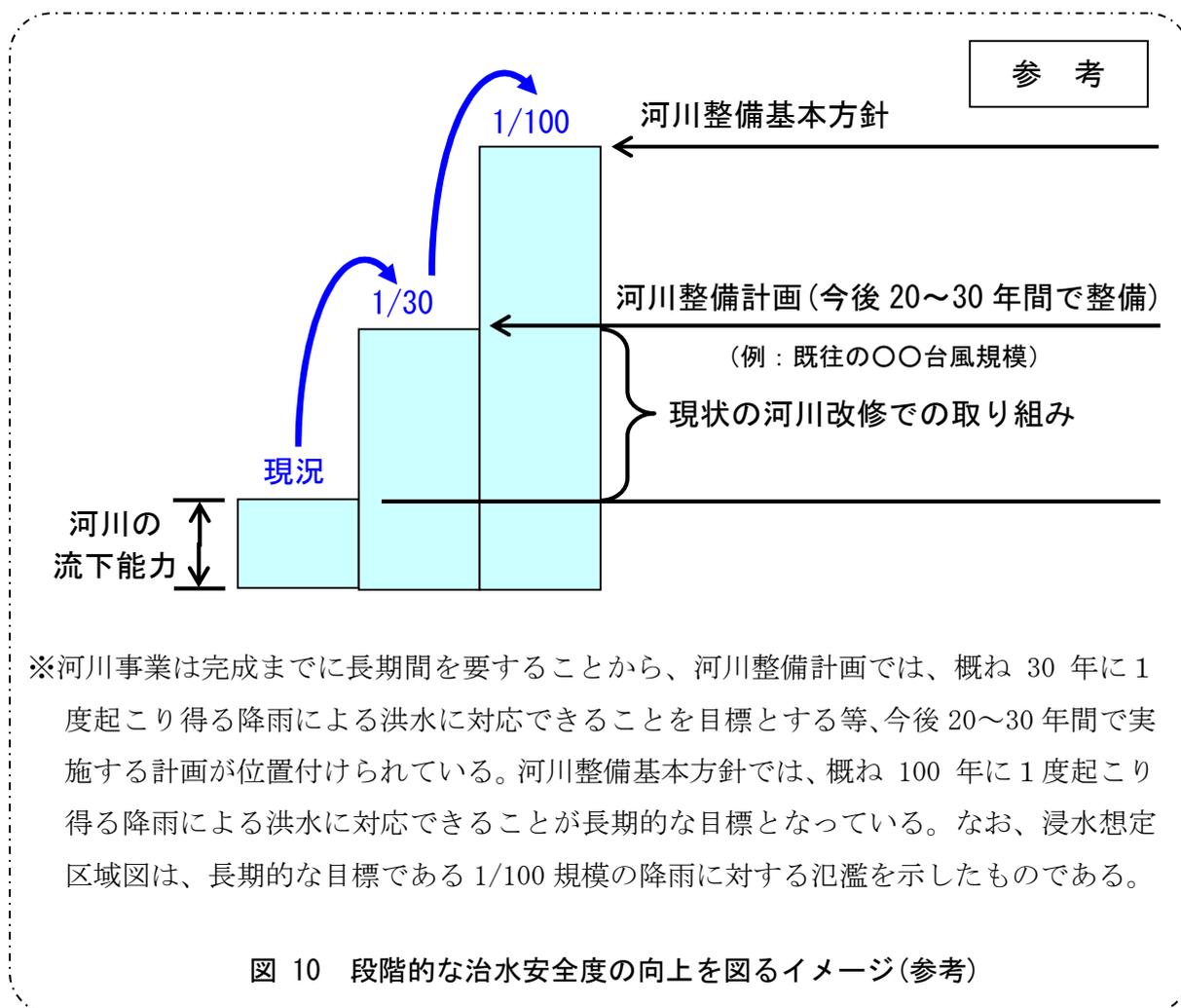


(2) 浸水想定区域

・計画規模降雨

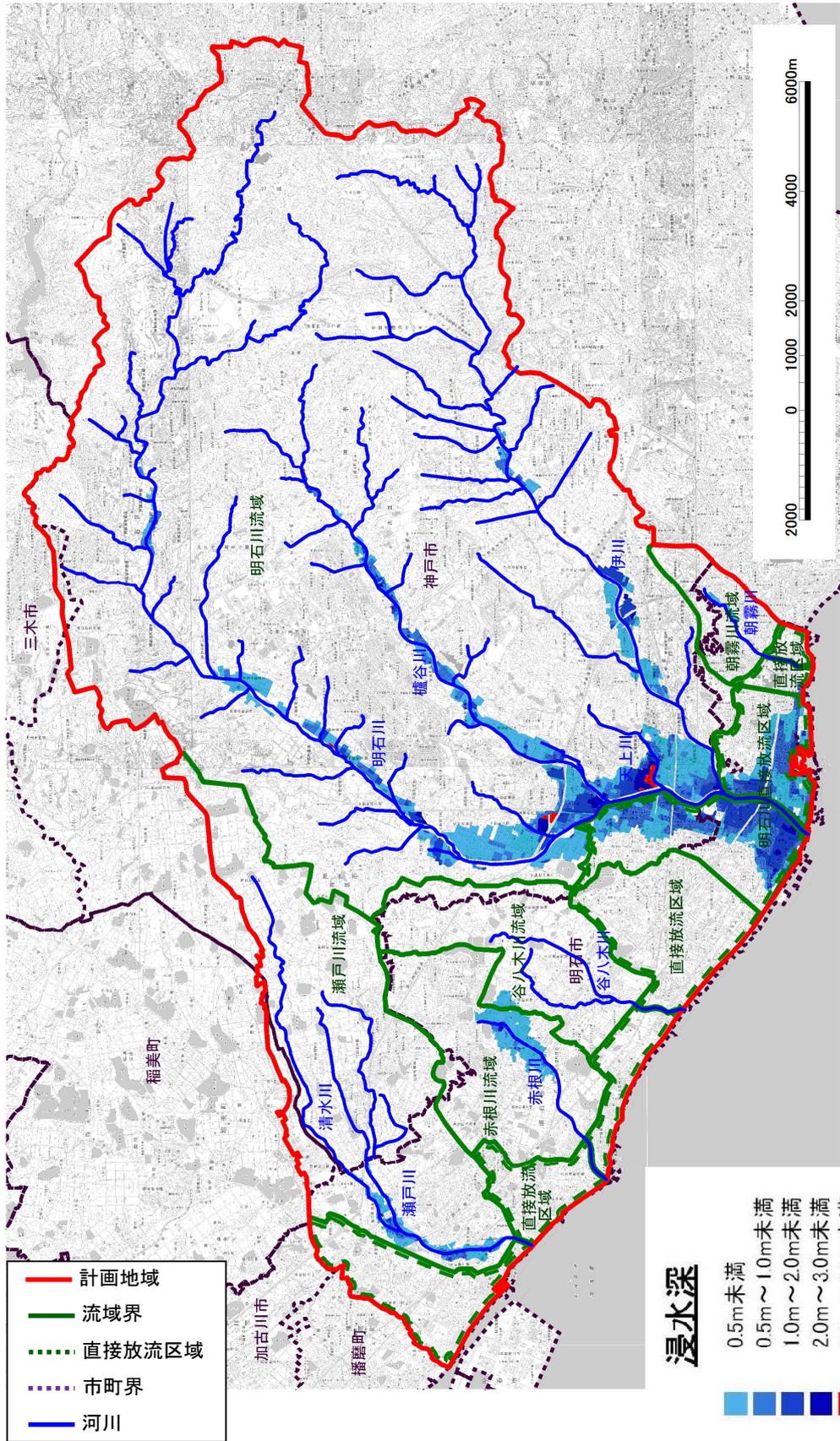
神明地域では、河川改修の進捗に伴い、近年は破堤等をともなう河川氾濫による浸水被害は発生していない。しかし、河川整備基本方針の整備水準である 100 年に 1 度の降雨による浸水想定区域図では、破堤をともなう外水氾濫により広範囲の浸水被害を想定している。

浸水深の多くは 1m 未満であるが、一部では 3m 以上となる地区も見られる。



・想定最大規模降雨

平成 27 年 7 月に改正された水防法に基づいて、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図を令和元年 8 月までに順次作成し、公表している。神明地域では、浸水深の多くは 3m 未満であるが、一部では 4m となる地点も見られる。



※浸水想定区域図は、概ね 100 年に 1 度起こり得る降雨に対する氾濫を示している。

図 11 計画地域の浸水想定区域図

2. 河川下水道対策に関する資料

(1) 河川の整備状況

神明地域の対象5河川の特性は下表の通りである。

表 3 対象河川の特性

区分	流域面積 (km ²)	法河川延長 (km)	人口、資産集積	土地利用	河川特性	整備状況河川	浸水実績	浸水想定区域
明石川流域	128.4	48.0	<ul style="list-style-type: none"> 約 24 万 9 千人 開発地に資産が集積 	<ul style="list-style-type: none"> 山地 41% 水田 13% 市街地 25% 	<ul style="list-style-type: none"> 築堤河道で、破堤した場合には甚大な被害が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 計画規模 (1/30) で改修中 	<ul style="list-style-type: none"> 明石川と天上川の合流部における玉津町で近年内水による浸水が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水深が 3m を超過 (4m 未満)
朝霧川流域	3.7	2.7	<ul style="list-style-type: none"> 約 3 万 7 千人 大部分が市街地であり、資産が集積 	<ul style="list-style-type: none"> 山地 4% 水田 0% 市街地 81% 	<ul style="list-style-type: none"> 掘込河道(一部特殊堤防)で、河床勾配が急峻で、短時間で洪水が到達 	<ul style="list-style-type: none"> 計画規模 (1/30) で改修済 	<ul style="list-style-type: none"> 沿川に局所的に浸水が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水深が 0.5m を超過 (1m 未満)
谷八木川流域	8.6	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 約 4 万 9 千人 市街地が多く、資産が集積 	<ul style="list-style-type: none"> 山地 14% 水田 11% 市街地 49% 	<ul style="list-style-type: none"> 掘込河道(一部築堤河道) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画規模 (1/30) で改修済 	<ul style="list-style-type: none"> 排水路等の能力を超え、中流域の窪地において浸水が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 氾濫の予測なし
赤根川流域	8.3	4.3	<ul style="list-style-type: none"> 約 5 万 7 千人 市街地が多く、資産が集積 	<ul style="list-style-type: none"> 山地 5% 水田 17% 市街地 61% 	<ul style="list-style-type: none"> 掘込河道(一部築堤河道)で、中流域は広範囲に浸水被害が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 計画規模 (1/30) で改修済(茜橋まで) 	<ul style="list-style-type: none"> 排水路等の能力を超え、中下流域の窪地において浸水が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水深が 0.5m を超過 (2m 未満)
瀬戸川流域	20.9	5.7	<ul style="list-style-type: none"> 約 7 万人 下流域に市街地が多く、資産が集積 	<ul style="list-style-type: none"> 山地 1% 水田 42% 市街地 41% 	<ul style="list-style-type: none"> 掘込河道(一部築堤河道)で、一部では浸水被害が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 計画規模 (1/24) で改修中 	<ul style="list-style-type: none"> 排水路等の能力を超え、下流域の窪地において浸水が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水深が 0.5m を超過 (2m 未満)
直接放流区域	18.6	-	<ul style="list-style-type: none"> 約 6 万 6 千人 	<ul style="list-style-type: none"> 山地 2% 水田 4% 市街地 75% 	-	-	-	-

河川整備計画は下表の通りである。

表 4 河川整備計画

水系名	河川名	施工区間	延長 (m)	内容	備考
明石川 水系	明石川	河口～伊川合流点	1,700	河床掘削、橋梁架替等	
		明石川取水堰～玉津橋	800	築堤等	800m 整備済み
	伊川	永井谷川合流点～上脇橋付近	1,400	河床掘削等	1,400m 整備済み
		前開第二橋付近～池尻橋	5,800	河道拡幅、河床掘削等	2,754m 整備済み
	櫛谷川	菅野中央橋付近 ～寺谷川合流点	6,100	河床掘削等	4,512m 整備済み
	友清川	櫛谷川合流点 ～二級河川上流端	2,100	河道拡幅、河床掘削等	
	天上川	天上橋上流～二級河川上流端	1,000	河床掘削、河道拡幅等	1,000m 整備済み
瀬戸川 水系	瀬戸川	JR 山陽本線橋梁 ～幣塚橋直上流	760	築堤、護岸、河床掘削、井堰 改築(1基)、橋梁架替(2橋)等	760m 整備済み
	清水川	本川合流点～帝釈橋直上流	500	築堤、護岸、河床掘削、井堰 改築(1基)、橋梁架替(1橋)等	200m 整備済み

1) 明石川水系

明石川水系の治水事業は、昭和 28 年度に中小河川改修事業（現、広域河川改修事業）に着手し、昭和 51 年度には「工事实施基本計画」を策定し、築堤と河道の拡幅などの整備を進めてきた。

明石川では、昭和 28 年度、伊川合流点から上流 8.7km 区間を対象に中小河川改修事業（現、広域河川改修事業）に着手し、現在は、福住川合流点までの約 14.1 km に区間を延伸し事業を継続している。また、昭和 43 年度以降、河口から伊川合流点までの約 1.7km の区間において高潮対策事業、昭和 54 年度以降、伊川合流点から藤原橋までの約 8.0 km 区間において住宅宅地関連公共施設整備促進事業（現、住宅市街地基盤整備事業）に着手し、現在も継続している。さらに、平成元年度から平成 18 年度にかけて福住川合流点から木見川合流点までの約 4.1km 区間において都市小河川改修事業（現、都市基盤河川改修事業）を実施した。また、J R 橋梁改築と橋梁部拡幅、神戸市西区玉津町西河原町等の堤防強化を実施中である。

伊川では、昭和 28 年度から平成 5 年度にかけて明石川合流点から別府大橋までの 2.9 km 区間において中小河川改修事業（現、広域河川改修事業）、住宅宅地関連公共施設整備促進事業（現、住宅市街地基盤整備事業）を実施してきた。現在、別府大橋から池尻橋間の約 9.5 km 区間において都市小河川改修事業（現、都市基盤河川改修事業）を実施しており、河床掘削、河道拡幅、護岸整備等を実施している。

性海寺川では、昭和 47 年度から 53 年度にかけて明石川合流点から二級河川区間上流端までの約 1.6km において神戸市開発局が西神ニュータウンの開発に伴い実施してきた。

櫛谷川では昭和 48 年度から、都市小河川改修事業（現、都市基盤河川改修事業）に着手し、現在は、明石川合流点から寺谷川合流点までの約 10.9 km 区間（友清川を含む）において事業を継続しており、河床掘削、護岸整備、堤防強化等を実施している。

天上川では、平成 7 年度以降、明石川合流点から上高津橋までの約 1.2km において中小河川改修事業（現、広域河川改修事業）を実施している。

表 5 治水事業一覧

河川名	事業名	事業期間	主な事業内容等
明石川	高潮対策事業	S43～	河口～伊川合流点
	中小河川改修事業	S28～	伊川合流点～福住川合流点
	住宅宅地関連公共施設整備促進事業	S54～	伊川合流点～藤原橋
	都市小河川改修事業	H1～H18	福住川合流点～木見川合流点
伊川	中小河川改修事業	S28～S59	本川合流点～別府大橋
	住宅宅地関連公共施設整備促進事業	S60～H5	本川合流点～別府大橋
	都市小河川改修事業	S55～	別府大橋～池尻橋
性海寺川	-	S47～S53	本川合流点～二級河川上流端
櫛谷川	都市小河川改修事業	S48～	本川合流点～寺谷川合流点
天上川	中小河川改修事業	H7～	本川合流点～上高津橋上流



図 12 明石川流域の河川特性、氾濫特性

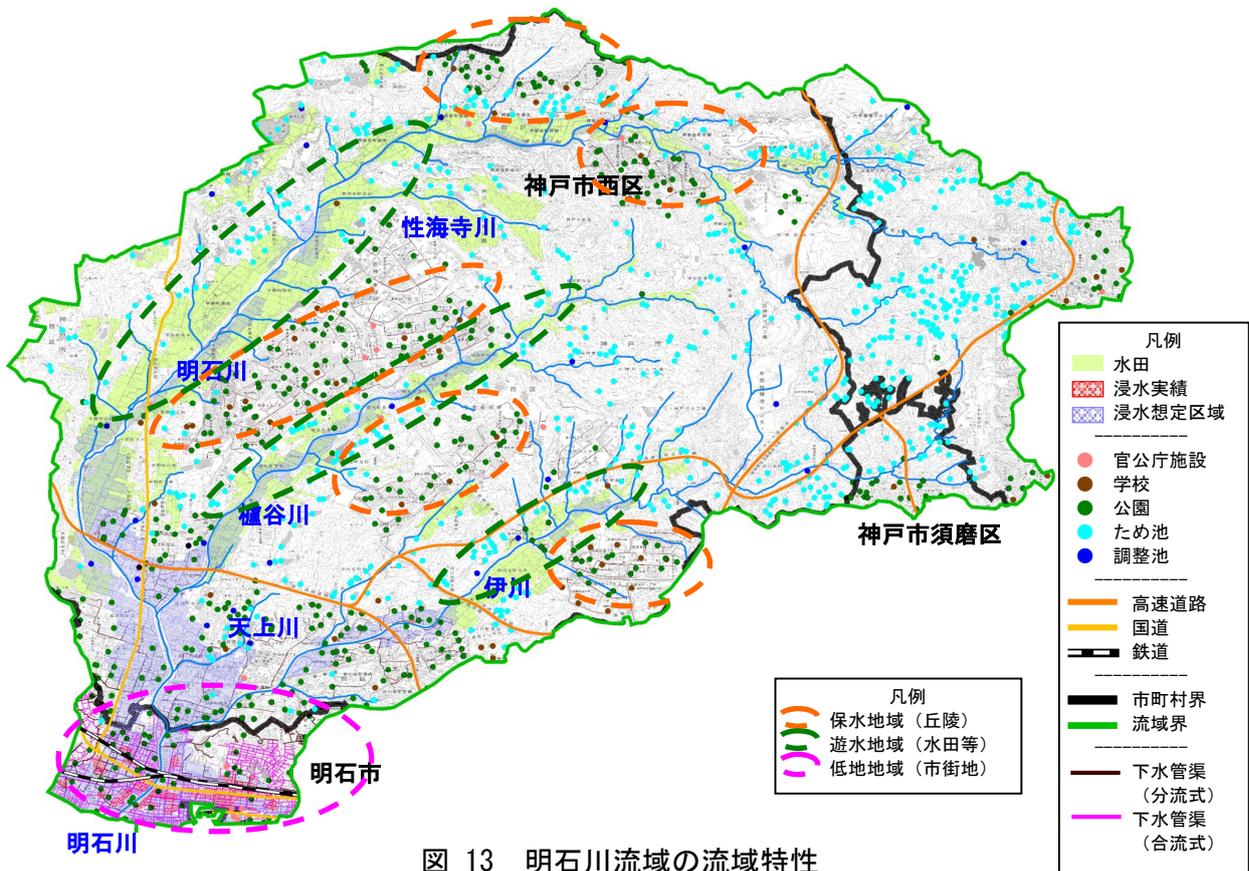


図 13 明石川流域の流域特性